【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第１区分
【発行日】平成30年3月1日(2018.3.1)

【公開番号】特開2017-194337(P2017-194337A)
【公開日】平成29年10月26日(2017.10.26)
【年通号数】公開・登録公報2017-041
【出願番号】特願2016-84356(P2016-84356)
【国際特許分類】
Ｇ０１Ｄ　13/22　　(2006.01)
Ｂ６０Ｋ　35/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０１Ｄ　13/22　　１０２
Ｂ６０Ｋ　35/00　　Ｚ

【手続補正書】
【提出日】平成30年1月18日(2018.1.18)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
リングギヤ（１４１）の周方向の所定位置から中心側に延びる指針（１４２）が形成されたリング指針（１４０）と、
前記リングギヤに駆動力を与えて、前記リングギヤを回転させることで前記指針を回動させる駆動部（１５０）と、を備える表示装置において、
所定の情報を表示するディスプレイ部（１２０）と、
前記ディスプレイ部のうち、前記情報の表示領域側に固定されて、前記リング指針を回転可能に受けるリング状の受け部（１３０）と、
前記受け部に固定され、前記ディスプレイ部の前記表示領域側に配置されて、内側に前記リングギヤを配置した加飾用の加飾リング（１６０）と、を備え、
前記加飾リング内には、その周方向に複数固定配置されて、前記リングギヤに前記受け部の方向へ付勢力を与える付勢手段（１７０）が配置されている表示装置。
【請求項２】
前記付勢手段は、前記加飾リングの内側面から、前記リングギヤの前記加飾リングに対向する対向面（１４１ｂ）側に延びて、前記対向面に前記付勢力を与える板バネである請求項１に記載の表示装置。
【請求項３】
前記リングギヤ（１４１）には、前記リングギヤが回転する際に、前記付勢手段の付勢側をガイドするガイドレール（１４１ｃ）が設けられた請求項１または請求項２に記載の表示装置。
【請求項４】
前記リングギヤと前記付勢手段との間に、前記リングギヤが回転する際の摺動性を高める摺動部材（１８０）が介在された請求項１～請求項３のいずれか１つに記載の表示装置。
【請求項５】
前記摺動部材は、ベアリングである請求項４に記載の表示装置。
【手続補正２】

【補正対象書類名】明細書
【補正対象項目名】０００６
【補正方法】変更
【補正の内容】
【０００６】
本発明では、リングギヤ（１４１）の周方向の所定位置から中心側に延びる指針（１４２）が形成されたリング指針（１４０）と、
リングギヤに駆動力を与えて、リングギヤを回転させることで指針を回動させる駆動部（１５０）と、を備える表示装置において、
所定の情報を表示するディスプレイ部（１２０）と、
ディスプレイ部のうち、情報の表示領域側に固定されて、リング指針を回転可能に受けるリング状の受け部（１３０）と、
受け部に固定され、ディスプレイ部の表示領域側に配置されて、内側にリングギヤを配置した加飾用の加飾リング（１６０）と、を備え、
加飾リング内には、その周方向に複数固定配置されて、リングギヤに受け部の方向へ付勢力を与える付勢手段（１７０）が配置されていることを特徴としている。